

ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI プログラム概要

研究機関名	佐賀大学				
プログラム名	出あい・ふれあい・学びあい 楽しい！算数サロン in 佐賀大学				
先生(代表者)	大林 将呉(おおばやし しょうご)・教育学部・准教授				
自己紹介	もともと小学校や中学校の教師として働いていました。現在はドイツの数学教育学者である Wittmann の考え方を基に算数・数学教育について研究をしています。最近は特に GeoGebra というアプリを使って小学校算数の図形の授業がどのように充実するかについて現場の先生方と一緒に研究を進めています。				
開催日・募集対象	令和9年 3月 7日(日)	受講対象者	小学校 5・6年生	募集人数	20名
集合場所・時間	佐賀大学本庄キャンパス教養教育2号館玄関前	(集合時間)	12:50～13:00		
開催会場	住所: 〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1 アクセスマップ URL: https://www.saga-u.ac.jp/access/				
内 容					
算数が得意な人も苦手な人も夢中になれる、ドイツの教科書を基にした不思議な算数ゲームに挑戦してもらいます。「難しいけれどおもしろい!」という体験を通して、数や図形への理解を深め、中学校数学にスムーズにつながる学習体験を楽しみましょう。図を動かしたり、数を変えて計算してみたりすることで算数や数学は一気に楽しくなります。算数・数学の魅力や学ぶことのときめきを大学の先生と一緒に体感しましょう。 【講演】 「ドイツの算数と日本の算数」についての講演を通して、国際的な教育研究の雰囲気を体験してもらうとともに、国によって変わることのない数学的な面白さを感じてもらいます。また、「算数と数学の違い」についての講演を通して、小学校での算数と中学校での数学の違いとそれらのつながりを理解し、発展的な問題にチャレンジしてもらいます。 【演習】 ドイツの算数教科書「Das Zahlenbuch」を参考にして開発された教材(約10種類)をフロアガイドを参考にしながら自由に体験し、算数・数学の本質的な楽しさを体験してもらいます。また、中学数学の学習内容をベースに小学生用に開発した教材にチャレンジしてもらいます。さらに、本プログラムにおける活動を振り返りながら、自分を取り組んで興味をもった教材の条件(教材の形、数値設定、ゲームのルールなど)を変えることで教材開発体験をしてもらいます。					
持 ち 物		特 記 事 項			
特になし		・筆記用具は大学で準備します。 ・お茶やお茶菓子は大学で準備しますが、昼食は各自で済ませて、ご参加ください。			

スケジュール

12:50～13:00 集合(佐賀大学本庄キャンパス教養教育2号館前)・受付(教養教育2号館エントランススペース)

13:00～13:20 開会式(挨拶, オリエンテーション, 科研費の説明)

13:20～13:35 講演①「ドイツの算数と日本の算数」

13:35～14:25 演習①「算数・数学のおもしろ教材を体験しようⅠ」

演習 A「中学校の問題にチャレンジ」

- ・教室に 10 ブース準備し、その中から問題を自由に選択し、数学的な探究活動に取り組みます。
- ・各ブースに学生を 1～2 人ずつ配置して、受講者の支援を行います。

14:25～14:40 講演②「算数と数学の違い」

14:40～15:30 演習②「算数・数学のおもしろ教材を体験しようⅡ」

演習 B「研究者になったつもりで教材の条件を変えてみよう」

- ・教室に 10 ブース準備し、その中から問題を自由に選択し、数学的な探究活動に取り組みます。
- ・各ブースに学生を 1～2 人ずつ配置して、受講者の支援を行います。

15:30:～16:00 閉会式(振り返り, 講評, 挨拶, 未来博士号授与)

16:00 終了, 解散

課題番号	26HT0138	分野	数学・人文	キーワード	算数・数学教育
------	----------	----	-------	-------	---------

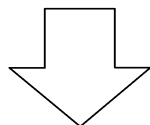
《お問合せ・お申込先》

所属・氏名	佐賀大学教育学部 大林将呉
住 所	佐賀県佐賀市本庄町 1
T E L 番 号	0952288113
E - m a i l	obayashi@cc.saga-u.ac.jp
申込締切日	2027年1月15日（金）

※当プログラムは先着順にて受付を行います。

《プログラムと関係する先生（実施代表者）の科研費》

研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
2023年度～ 2025年度	研究活動スタート支援	23K18908	図形領域における小学算数から中学数学の論証理解への滑らかな接続に重要な要因の解明
2024年度～ 2026年度	基盤研究(C)（一般）	24K05973	図形領域における小学算数から中学数学の論証理解への滑らかな接続に重要な要因の解明



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<https://nrid.nii.ac.jp/ja/nrid/1000050983821>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。